

## IV 救 助 の 概 要

### 1. 救助体制

#### (1) 救助体制

県内の救助体制は、令和2年4月1日現在、消防法第36条の2の規定ならびに「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」に基づき、救助活動に関する高度な専門教育を受けた隊員、救助活動に必要な資機材及びこれらの資機材を搭載した救助工作車等によって構成される救助隊を3消防本部に設置しており、県内全域をカバーしている。

#### 救 助 隊 設 置 状 況

令和2年4月1日現在

救助隊設置 消防本部数	救助隊設置 市町村数	人口（人）	人口カバー率（%）
3	39	1,326,241	100.0

#### (2) 救助隊数及び救助隊員数

救助隊は3消防本部に20隊設置されており、救助隊員は279人となっている。

#### 救 助 隊 数 及 び 救 助 隊 員 数

令和2年4月1日現在

区 分	救助隊数（隊）			救助隊員数（人）		
	専任	兼任	計	専任	兼任	計
救 助 隊 （省令第3条を満たす救助隊）	8	12	20	120	159	279
うち 特別救助隊 （省令第4条を満たす救助隊）	7	3	10	105	45	150

#### (3) 救助隊が乗車する車両及び主な保有資機材

救助隊が乗車する車両としては、複雑多様化する各種災害、事故に迅速に対処することのできる資機材を搭載した救助工作車の整備が図られている。

また、救助隊の保有する資機材についても、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」に基づき、専門化した機械器具の整備が図られている。

#### 救 助 活 動 に 使 用 す る 車 両 の 保 有 状 況

令和2年4月1日現在

使用車両	救 助 工 作 車	はしご車	屈折 はしご車	ポンプ車	水 槽 付 ポンプ車	化 学 車	そ の 他	合 計
車両台数	20	3	1	0	0	0	0	24

救助活動のための主な機械器具等の保有状況

令和2年4月1日現在

救助隊	三連はしご	救命索発射銃	油圧スプレッダー	油圧切断機	可搬ウインチ	エンジンカッター	チェーンソー	ガス溶断器	可燃性ガス測定器	空気呼吸器
	76	20	23	22	31	54	52	21	29	522
特別救助隊	油圧ジャッキ	大型油圧スプレッダー	大型油圧切断機	削岩機	空気鋸	有毒ガス測定器	酸素濃度測定器	放射線測定器	送排風機	酸素呼吸器
	26	19	21	18	20	61	24	46	25	72

2. 救助活動の実施状況

(1) 救助活動の状況

令和元年中（1月～12月）における県内の救助活動の状況は、出動件数955件、活動件数535件、救助人員542人で、前年に比べ、出動件数で25件（2.7%）増加、活動件数で9件（1.7%）減少、救助人員で20人（3.6%）減少した。

救助出動件数、活動件数及び救助人員（令和元年中）

（単位：件、人、%）

出動件数		活動件数		救助人員	
	対前年増加率		対前年増加率		対前年増加率
955	2.7	535	△ 1.7	542	△ 3.6

(2) 事故種別救助活動の状況

令和元年中（1月～12月）の事故種別の救助活動の状況は、出動件数では交通事故が26.3%と最も多く、続いて建物等による事故、水難事故の順となっており、また、活動件数でも交通事故が24.9%と最も多く、続いて建物等による事故、水難事故の順となっている。

救助人員については、交通事故が28.0%と最も多く、救助活動1件当たり1.1人を救助している。

事故種別救助活動（令和元年中）

（単位：件、人、%）

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
出動件数	13	251	22	0	7	118	6	0	538	955
構成比	1.4	26.3	2.3	0.0	0.7	12.4	0.6	0.0	56.3	100.0
活動件数	13	133	14	0	5	106	3	0	261	535
構成比	2.4	24.9	2.6	0.0	0.9	19.8	0.6	0.0	48.8	100.0
救助人員	3	152	17	0	5	105	2	0	258	542
構成比	0.6	28.0	3.1	0.0	0.9	19.4	0.4	0.0	47.6	100.0
活動1件当たりの救助人員	0.2	1.1	1.2	0.0	1.0	1.0	0.7	0.0	1.0	1.0